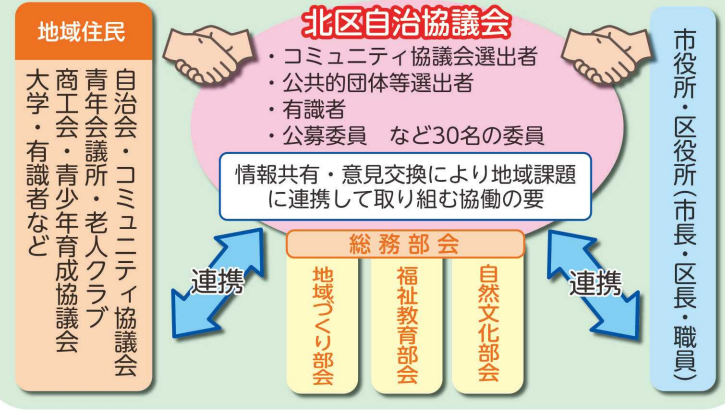


北区自治協議会だより

令和4年2月27日発行 第19号

自治協議会とは

区の皆さんと行政の協働の要として、多様な意見を調整し地域課題に取り組みます。
住民自治の推進を図るため、区ごとに組織されています。



第8期委員の皆さん

第8期委員名簿

◎会長 ○副会長 ☆部会長 ※順不同、敬称略
(令和4年2月1日現在) 任期 令和5年3月31日まで

氏名	所属団体等
◎神田 征男	松浜地区コミュニティ協議会
神田 恭之	南浜地区コミュニティ協議会
諏訪 俊章	濁川地区コミュニティ協議会
小日向 克司	葛塚中央コミュニティ協議会
☆五十嵐 隆吉	葛塚東コミュニティ協議会
本間 藤雄	太田ちいきコミュニティ協議会
阿部 勝幸	コミュニティ木崎村
○前田 義憲	岡方地区コミュニティ委員会
山賀 好郎	長浦コミュニティ委員会
☆清水 博恭	早通地域コミュニティ協議会
有田 一彦	新潟市北地区スポーツ振興会
樺山 サト子	北区民生委員・児童委員協議会
斉藤 保則	新潟市北区社会福祉協議会
清水 文桜	北新潟地域づくり学会
鶴巻 ヨシ子	新潟市食生活改善推進委員協議会北支部
平松 賢一	新潟市北地区老人クラブ連合会
藤沢 直子	新潟医療福祉大学
藤原 愛	新潟医療福祉大学
本間 啓幸	支え合いのしくみづくり会議
皆川 英良	協同組合北新潟商工振興会
寺山 則雄	松浜地区青少年育成協議会
横山 喜人	にいがた北青年会議所
横山 由美	豊栄商工会
渡邊 万理子	新潟市北区スポーツ協会
本田 正美	新潟市農業協同組合
☆伊藤 裕美子	人権擁護委員
遠藤 由美	元亀田中学校長
中嶋 涼子	木崎中学校地域教育コーディネーター
佐久間 沙都美	公募委員
皆川 靖博	公募委員

会長 神田 征男 さん

新型コロナウイルスの感染拡大抑制のために、地域における生活環境や活動も大きく変わりました。収束が見えない現状ですが、まずは「人にうつさない、人からうつされない」が基本です。一人ひとりが感染対策を行っていきましょう。

自治協議会では生命をも脅かす自然災害、地域の身近な課題、区役所から提案される事業内容に対して意見交換を行っています。

誰もが進んで助け合える、安全で安心して住みやすいまちづくりに行政と委員が協働で取り組み、住民参加の活動、会話のある地域づくりを目指します。

北区を良くするための事業提案に努めていきたいと思っています。皆さんからも自治協議会にご意見をお寄せください。



副会長 前田 義憲 さん

令和3年4月、本協議会第8期の1年生委員として就任させていただきました。新型コロナワクチンの接種も、当初は混乱したものの年末の接種率は8割を超え、まもなく治療薬の使用も開始されるとのこと、今しばらくの我慢です。

新年度は主に令和5年度からの「区ビジョンまちづくり計画」の策定に、行政と全委員が協働で取り組みます。

北区の先人たちは、何時の時代も地域の諸問題に、衆知を集め、知恵を出し懸命に対処してきました。今を生きる我々には、これら先人たちの歴史に学び、伝統の力を信じ現状の諸課題を超えていく責務があります。

本協議会の皆さまと共に、区民の皆さまのご意見もいただきながら、北区の更なる発展のために活動したいと思います。



次期区ビジョンまちづくり計画策定 北区自治協議会ワークショップ

「区ビジョンまちづくり計画」はにいがた未来ビジョン(新潟市総合計画)で掲載している区ビジョン基本方針の実現に向けた具体的な取り組みを示した計画です。令和4年度末で計画期間が終了するため次期計画策定に向けてのワークショップを令和3年11月25日(木)に行いました。

最初にグループごとに「区の強み」を出し合いました。その後、これまで同計画に基づき実施してきた取り組みを検証し、現状と課題、今後の方向性について意見交換しました。

今後も意見交換を行いながら地域の声を反映させていきます。



感想など

- ・意見を言い合うことで、自分の中の意見を発言できる。
- ・北区のことを改めて考える良い機会となった。
- ・時間が少し足りなかった気がする。時間を延ばすか、グループを少なくしてはどうか。
- ・県外出身で、北区のことは正直知らずに過ごしてきたが、ワークショップを通して、様々な分野で北区を知ることができた。また、将来への期待と課題について考えることができた。



公募委員インタビュー 皆川 靖博 さん

私は、新潟青年会議所を卒業し、住み暮らす新潟市北区において、地理的要因を最大限に活かした「まちづくり」を提案したいと思い、公募委員に応募しました。

昨今、新潟市策定の「にいがた未来ビジョン」が掲げる都市像における政策が描かれているのに対し、現状は全く機能していないと言えます。

その政策を実現するためには、北区の宝「新潟東港」が、本州日本海側唯一の国際的な港湾機能として、水深17m以上を保ち、世界の大型コンテナ船が着岸できると共に、コンテナヤードの拡張等、周辺整備を図り、国際物流を基軸とした経済発展を更に推進していくべきであると考えています。よろしくお願いいたします。



北区自治協議会専門部会

地域づくり部会

所管分野：賑わいづくり、公共交通、防災、地域産業

部会長 五十嵐 隆吉さん

当部会では、今年度はいつ起こるか分からない自然災害から命を守るために防災意識の向上を目的とした施策を検討してきました。日頃、各自治会・町内会などで防災訓練が実施されています。しかし、子育て世帯は忙しく訓練参加が難しい面があることから、パパさん、ママさん、子どもさんを対象に遊びながら体験し、だれでも楽しく学べる新しい防災訓練として「親子でわくわく！あそんでまなぼうさい！！in北区」を実施しました。



参加者の皆さんからは、楽しく参加できた、もっとたくさんの人に知ってもらいたいのご意見もいただき、コロナ禍で人数のかぎりがありましたが、当初の目的が達成されたと感じています。今後も安心安全で暮らしやすい地域づくりを目指していきます。



イベント当日の様子



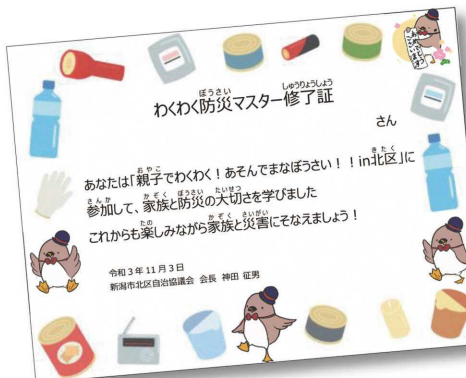
今年度の取り組み

親子でわくわく！あそんでまなぼうさい！！in北区

令和3年11月3日(祝)蔵の宿菱風荘を会場に、「親子でわくわく！あそんでまなぼうさい！！in北区」を実施しました。

ジャッキアップゲームや水消火器的あてゲームなど親子で遊びながら楽しく防災についての体験をしました。

「知らないことがいっぱいになりました！子どもたちも楽しそうでした。」「どのコーナーもとても勉強になりました。日頃から使えるものばかりなので子どもと一緒にやってみようと思いました。」など防災について改めて考えるきっかけになりました。



福祉教育部会

所管分野：子育て、教育、医療・保健、福祉全般

部会長 清水 博恭さん

第7期に引き続き部会長を拝命しました。令和3年度の当部会提案事業は、身近な人へかけたい思いやりのある言葉、「あったか言葉」を募集しました。幅広い世代から応募があり、添えられたエピソードに、考えさせられる言葉もありました。コロナ禍で、私の所属する早通地区コミュニティ協議会でも、地域の行事はまだ元通りにはいきません。早くコロナウイルスが収束し、以前のような日常を取り戻せるよう、皆で協力していきたいと思えます。声を掛けあって、支え合える関係づくり、地域づくりが北区で広がっていくことを願います。



今年度の取り組み

「あったか言葉」っていいね

身近な人との交流や声をかけあう機会が少なくなり、心の距離が遠くなってきています。

家族へ、友だちへ、恋人へ、地域の人へなど誰かにかけてたい思いやりのある言葉、「あったか言葉」を募集し、270件の応募がありました。その中から審査で選ばれた14作品をシールにし、福祉作業所のお菓자에貼り販売してもらいました。

写真上：入賞者 下：表彰式



入賞作品

ほっこり賞(10代部門)	氏名
ありがとう いつも近くに いてくれて	植木 玲菜さん
伝えよう 感謝の言葉 ありがとう	遠藤 雄大さん
「ありがとう。」 周りにやさしさ 連鎖する	加瀬 新さん
だいじょうぶ あたたかい声 やさしいね	菊池 桜翔さん
失敗は みんなあること 気にするな	木村 萌杏さん
聞きたいな もっと話して 君の事	近藤 大翔さん
大丈夫 言われてうれしい 助け合い	佐藤 莉瑚さん
やさしさを 次はぼくが 返す番	田中 蒼大朗さん
友達に 背中をおされ 勇気です	谷 愛理さん
ありがとう 言われて言って あたたかい	平松 幸太郎さん
ぬくぬく賞(20～50代部門)	氏名
ありがとう 笑顔あふれて ありがとう	梅津 礼さん
つらくても あなたはあなたの ままでいい	高野 由佳さん
ほかほか賞(60代以上部門)	氏名
どうしたの ちょこっとひと声 かけてみる	松田 ヒサさん
なんとかなる なるようになる きっといいことがある	山田 まり子さん

自然文化部会

所管分野：文化・スポーツ、環境

部会長 伊藤 裕美子さん

自然文化部会は、北区の豊かな自然文化の魅力を発信していくための事業を行っています。今年度は「福島潟PR動画(冬～春編)」を作成したほか、「北区の魅力再発見フォトコンテスト」を実施しました。

自然文化が好きな私は、学校ビオトープでの出前授業や読み聞かせなどを続けています。他にも、人権擁護委員として、地域活動に参加してきました。

今年度から、自治協議会委員に仲間入り。一歩ずつ学びながら、意見交換が活発となることを期待します。



福島潟魅力PR動画の試写会



福島潟魅力PR動画のお披露目



フォトコンテストの入賞作品選定

今年度の取り組み

北区 自然の魅力発信事業

— 福島潟魅力PR動画(冬～春編) —

昨年度の夏～秋編に引き続き、県立豊栄高等学校の生徒と協働で福島潟の魅力PR動画を制作しました。

動画撮影と編集は、同校の芸術コースで情報メディアデザインを選択した生徒と美術部の生徒が担当。楽曲の演奏には、県立三条高等学校の生徒にも協力していただきました。制作にあたっては、豊栄高校の生徒と自然文化部会の委員とで活発な意見交換を交わしました。見ごたえのある動画となっていますので、ぜひご覧ください。



— フォトコンテスト —

北区の魅力を広く発信するため、Instagramを活用し「北区の隠れた魅力」をテーマにフォトコンテストを開催しました。応募総数197作品の中から、優秀賞3点、入選10点の合計13点を決定。入賞作品は、北区ホームページから見られますので、ぜひご覧ください。

